

9 / 25 Ciao my Italian family

本当は23日にローマを発ち、ミラノで3泊してから帰国する予定だったのですが、カードが使えないので予定が崩れて困っていると、

「ミラノ行かずにずっとここに泊まっていきなよ！」

とホテルのスタッフが言ってくれたので、帰国する前日までこのホテルに滞在していました。

財布がなくなって以来、一日何度も

「How are you Fuzuki?」

と話しかけては、笑わせてくれました。

スタッフに混ざってパスタやチキンを食べたり、観光に行ったり、明け方までお話ししたり。

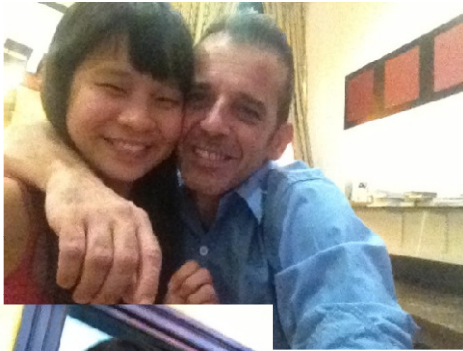
どうしてこんなに優しくしてくれるの?というと、

「You are my family」

と言ってみんな笑ってくれるのでした。

生まれも育ちも生活も何もかもが違うけれど、同じものを見て笑って考えて話し合っただけ。たった5日間だったけど、ずっとここにいたい。と思うくらいあたたかい幸せな時間でした。

本当に感謝しています。



スタッフ以外にも、同じ部屋に泊まった女の子二人とは、特に深い話から冗談話まで沢
山話して思い出を作りました



この日の朝、テルミニ駅からミラノ行の列車に乗りました。スタッフが見送りに来てくれ、

「いつかまたどこかで必ず会おう」

と力強く言ってくれました。一方の私は涙涙で、まともに話せませんでした(；_；)

いつかまた必ず。

Grazie! Ciao my Italian family